

キーワード↓

市役所改革

市役所改革の重点項目「出資団体改革」と「行政評価」。前者は、市が資本金などを出資している団体（財団法人、株式会社など）について、より効率的な組織体制・運営の確立を目指しています。後者は、市が実施している事業の必要性や成果について、今回から外部の視点を取り入れて検証し、今後の見直しに役立てていくための仕組みです。

「出資団体改革プラン」まとまる

38 ↓ 31 団体へ。市職員の派遣・再就職も見直す

市役所改革の重点課題の一つ「出資団体の見直し」。このほど、団体の統廃合をはじめ、市の人的・財政的関与の見直しも盛り込んだ実行計画「出資団体改革プラン」がまとまりました。

対象となる団体は、原則、市の出資割合が四分の一以上を占める三十八団体。市では、第三者機関「出資団体評価委員会」がまとめた報告書を基に検討を進め、計画には二百六の取り組み項目を掲げました。計画の取り組み期間は、十七年度から二十一年度までの五年間。十七・十八年度を集中取り組み期間と位置付け、全庁を挙げて改革を進めていきます。

（21）
2177
詳細 市政推進室調査担当

1 団体の統廃合

ポイント

- 3 団体を廃止
- 8 団体を 4 団体に統合
- 2 団体の事務局を統合

廃止 3 団体

- 札幌市土地開発公社
実施年度／公社保有地の処分が完了した時点(10年間をめぐ)
- 札幌道路維持公社
実施年度／平成18年度末まで
- 北海道青少年福祉協会
実施年度／平成24年度までに検討

統合 4 組 8 団体

- 札幌市健康づくり事業団
●札幌市スポーツ振興事業団
実施年度／平成19年度
- 札幌市環境事業公社
●札幌リサイクル公社
実施年度／平成19年度をめぐに検討
- 札幌エネルギー供給公社
●北海道熱供給公社
実施年度／平成25年度まで
- 札幌市芸術文化財団
●札幌彫刻美術館
実施年度／平成19年度

事務局統合 1 組 2 団体

- 札幌市体育協会
●札幌市スポーツ振興事業団
実施年度／平成19年度

3 事業の担い手の見直し

ポイント

- 3 団体が別の事業者者に再委託している 6 事業を、市が直接事業者を選定して委託（4 団体 4 事業を引き続き検証）
- 14 団体 17 事業について、民間事業者などへの委託を検討
- *指定管理者制度の積極的活用

※公の施設の管理運営を民間事業者やNPOなども担うことができる制度。18年度から本格的に導入する。

2 事業の廃止・見直し

ポイント

- 3 団体の 3 事業を廃止
- 3 団体の 3 事業について、今後の方向性を検討

廃止 3 事業

団体	取り組み	目標年次
札幌国際プラザ	ワールド・トレード・センター（WTC）サッポロの管理・運営事業の廃止	17年度（実施済み）
札幌市健康づくり事業団	骨粗しょう症検診の廃止	18年度（実施）
札幌市学校給食会	物資購入差額助成の廃止	17年度（実施済み）

検討 3 事業

団体	取り組み	目標年次
札幌国際プラザ	札幌天神山国際ハウスの在り方の検討	18年度
札幌勤労者職業福祉センター	札幌サンプラザの事業目的の再検討	19年度まで
札幌市下水道資源公社	コンポスト事業の方向性について検討	18年度

※なお上記のほか46事業の見直しを検討する。